

YOKOHAMA パラスポーツシンポジウム

テーマ

- 東京2020パラリンピックのエピソード
- パラスポーツを始めた・続ける・応援する理由
- 横浜市内のパラスポーツ情報 など



出演者

栗栖 良依

(認定NPO法人スローレーベル 理事長)

既成概念に囚われない自由な発想で、異分野・異文化の人や地域を繋げ、新しい価値を創造するプロジェクトを多方面で展開。2010年、骨肉腫を患い障害福祉と出会う。翌年、SLOW LABELを設立。ソーシャルサーカスで多様性と調和のある世界の実現をめざす。東京2020パラリンピック開閉会式ステージアドバイザー。

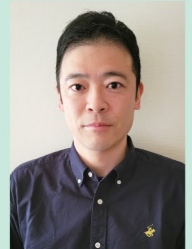


Photo by Hidemi SHINODA

吉沢 剛

(日本パラスポーツ協会公認 障がい者スポーツトレーナー)

2016～2019年日本スポーツ振興センター在籍時、パラスポーツの国内外の合宿・試合に帯同。リオデジャネイロ2016大会、東京2020大会にてパラ水泳チームに帯同。



田中 光哉

(パラテコンドー選手)

東京2020大会開催決定を機に、東京都の障害者スポーツ支援団体に大学卒業後就職。2年後にアスリートを目指しテコンドー競技開始。東京2020大会出場。



©Futoshi Akiyama

日向 楓

(パラ水泳選手)

兄の水球教室がきっかけで小学1年生で水泳を始める。東京2020大会ではリレーを含む4種目に出場し、50mバタフライ(S5)で7位入賞。



司会

杉内 周作

(元パラ水泳選手)

アテネ2004大会 銅メダリスト。現役引退後は、後進の指導を続けている。パラ水泳連盟のアスリート委員会の発足にも参与。一般社団法人 日本パラ水泳連盟 理事。



江口 桃子

(フリーアナウンサー)

TBSニュースバードキャスターを経て、FMヨコハマ横浜市広報番組DJなど。横浜市内で行われるスポーツイベント司会を多数行う。日本スポーツマンシップ協会理事。



主催：公益財団法人横浜市スポーツ協会 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団

共催：横浜市

スポーツ安全保険

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

対象となる事故

団体活動中の事故／往復中の事故

保険期間

2022年4月1日～2023年3月31日
(申込受付は2022年3月から)

スポーツ活動・文化活動・レクリエーション活動・ボランティア活動・地域活動を行う4名以上のアマチュアの団体がご加入になれます。(掛金は年齢・活動内容・補償内容等で異なります。)

▼詳しくは、ホームページまたはお電話でご確認ください。

スポーツ安全協会神奈川支部 ☎045-311-0653(代表)

※ご加入は簡単・便利なインターネットから↓

スポーツ安全保険

検索

<https://www.sportsanzen.org>
令和3年12月作成 21-TC07929

スマホde
よこはま
シティ
ウォーク

非接触で楽しもう

第32回

横浜を自由に歩いてみよう
2022年3月12日(土)～
3月21日(月祝)

スマートフォンがあれば
どなたでも
無料で参加できます



第32回



詳細はこちら→<https://www.hamaspo.com/ycw2022>

